

産学連携型伝統工芸ものづくり支援事業 概要

【目的】

近年の国内経済や社会情勢、消費者のライフスタイルの多様化などにより、本市の漆器業界は厳しい状況にある。特に作り手においては、完全分業による生産体制や複雑な流通構造のため、作り手自らが消費者動向や市場ニーズに即応した商品の開発を行うことが困難な状況が続いているものと思われる。

こうした状況を打開し、さらには会津漆器産業の再活性化を果たすためには、「ものづくり」の現場において、現在の市場ニーズを的確に捉えた商品の開発が必要と思われる。

本事業は、上記の現状を踏まえ、首都圏市場に立地する東京造形大学との連携・協働により、作り手自らが首都圏の消費者ニーズを意識した新製品の試作開発を行うとともに、市場ニーズを捉えた「ものづくり」ができる人材の育成、さらには従来とは異なる新市場を開拓するための大きな契機とし、ひいては会津漆器のブランド力と競争力の底上げを目指すものである。

【事業内容】

東京造形大学（八王子市）の学生の若い感性と、会津漆器の伝統技法のコラボレーションによる産学連携型新商品試作開発事業。学生側から現在の首都圏市場のニーズを捉えた新商品の企画アイデア、販売戦略の提案を受け、会津漆器の職人が学生らと検討を加えながら試作開発を行うとともに、マーケティング調査からセールスプロモーション、商品の知的財産の取扱いといった、従来、作り手自らが携わることの少なかった分野においても、各種セミナー等を開催し、また、実際に経験することによって、市場ニーズを的確に捉えた「ものづくり」へと作り手の意識の改善と姿勢の向上を図る。

【スケジュール】

- ・ 参加者公募 （4月）
- ・ 企画デザインの提案 （5月）
- ・ 新商品試作開発 （6月～10月）
- ・ 会津ブランドものづくりフェア'06における試作品展示発表 （10月28日～29日）
- ・ パンフレット製作 （8月～11月）
- ・ 東京における試作品展示発表 （11月29日～12月5日）
- ・ 東京でのマーケティング調査 （11月下旬～12月上旬）
- ・ 知的財産の取扱いなど各種セミナー等の実施 （7月～12月）

※ ホームページが開設されました。 <http://www.aizu-next.com/>